

日立ダイアグノスティックツールHDM-330操作ガイド
トヨタ/整備モード(例:50系プリウス)

注意事項/必ずお読みください

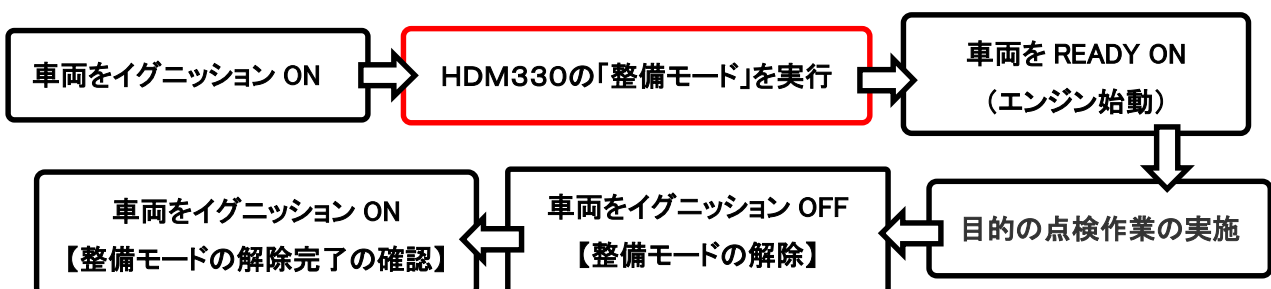
- 実際の作業に当たっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で作業手順、作業上の注意点を参照の上、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更される為、本資料に掲載する機能が使用できない場合がございます。
- 整備モードを実行された際、警告灯が点灯した場合は、HDM330を使用してダイアグコードを確認し、必ずダイアグコードの消去を行ってください。

1. 整備モードの流れ

- HV車はエンジンが暖機状態でHVバッテリーの充電状態が良好な場合、停車中にエンジンを自動停止させます。このため点火時期の点検など、停車中にエンジンの連続運転の維持が必要なときに「整備モード」を使用します。
- HDM330のトヨタソフトが対応している「整備モード」と使用目的は下表のとおりです。

整備モード	主な使用目的	制御内容
2WD整備モード 【2WD(排ガス測定用)】	●点火時期点検などのエンジン調整 ●車検時のアイドル点検CO/HC点検など ●スピードメーターテスターでの試験 ●2輪シャシダイナモメーターでの試験など	●エンジン強制アイドルリング ※シフトポジションがPの時 ●TRC装置の作動解除 ●リヤモーター制御シャットダウン ※2WD走行
2WD認証モード 【2WD(TRC禁止用)】	●スピードメーターテスターでの試験 ●2輪シャシダイナモメーターでの試験など	●TRC装置の作動解除 ●リヤモーター制御シャットダウン ※2WD走行
4WD整備モード 【4WD(排ガス測定用)】	●点火時期点検などのエンジン調整 ●車検時のアイドルCO/HC点検など ●4輪シャシダイナモメーターでの試験など	●エンジン強制アイドルリング ※シフトポジションがPの時 ●TRC装置の作動解除
4WD認証モード 【4WD(TRC禁止用)】	4輪シャシダイナモメーターでの試験など	TRC装置の作動解除

- 「整備モード」による点検作業は下記の流れとなります。

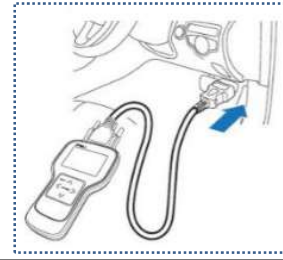


(次ページに続きます)

2. HDM330操作手順(作業要領含む/実行例:2WD 整備モード)

【手順001:HDM-330の車両への接続】

右図の様に HDM-330を車両側診断コネクタに接続し、イグニッション ON を行ってください。



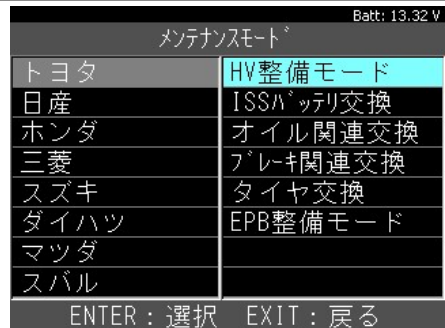
【手順002:HDM-330の車両への接続】

HDM-330が起動し、HDM-330メニューが表示されましたら、カーソルを「メンテナンスモード」に合わせてENTERキーを押してください。



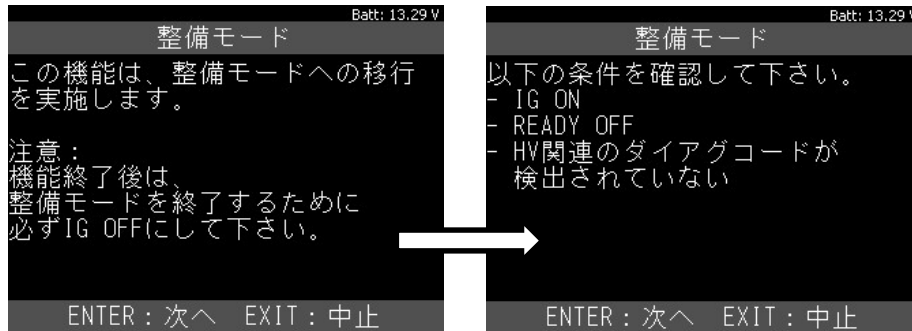
【手順003:「トヨタ」⇒「HV 整備モード」の選択】

「メンテナンスモード」画面が表示されます。カーソルを「トヨタ」に移動させた後、続けて「HV 整備モード」にカーソルを移動させて ENTER キーを押してください。



【手順004:機能の概要説明画面から】

機能の概略説明が表示されます。ENTER キーを押すと「整備モード」の実行にあたって必要な車両の条件が表示されますので、条件と車両の状態を照会後、ENTER キーを押してください。



【手順005:「整備モード」の実行】

整備モードの選択画面が表示されます。実行したい整備モードにカーソルを移動させて ENTER キーを押してください。画面に「整備モードに移行しました」が表示されます。



(次ページに続きます)

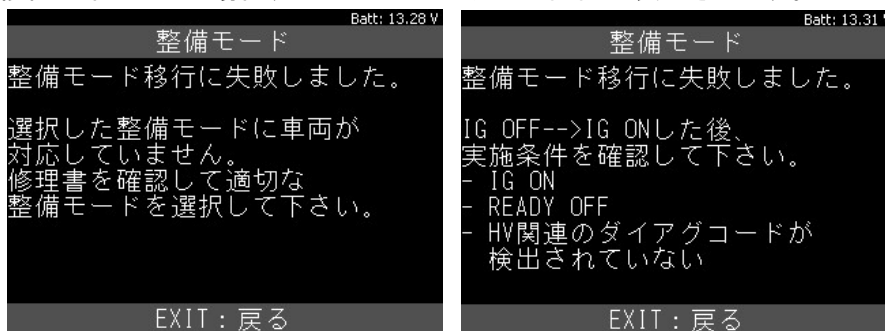
【手順006:エンジンの始動】

下記の手順でエンジンを始動してください。

- ①マルチディスプレイに“MAINTENANCE MODE”又は“CERTIFICATION MODE”が表示されているか確認してください。
- ②ブレーキペダルを踏みながら、パワー(イグニッション)スイッチを押して、エンジンを始動して下さい。
- ③READY インジケータランプが点灯し、エンジンが連続運転になります。

【2WD モードでの補足】

- 整備モード中は、コンビネーションメータのハイブリッド・システム警告灯が1秒周期で点滅します。
- 2WD整備モード(2WD(排ガス測定用))でのアイドル回転数は約1000 r/min です。
- Pポジション時のみ、アクセルペダルを踏むとアクセル開度中程度までは約1500 r/min、それ以上全開までは約2500 r/min でレーシングします。
- 2WD整備モード(2WD(排ガス測定用))中にダイアグコードが記憶された場合、マスターウォーニングランプが点灯します。
- 2WD整備モード(2WD(排ガス測定用))で作業中にマスターウォーニングランプが点灯し続けた場合は、2WD整備モード(2WD(排ガス測定用))を停止してダイアグコードの点検を行ってください。
- 整備モードに移行出来なかった場合、HDM330では以下の画面が表示されます。



【手順007:点検作業の実施】

点検作業を行ってください。

【手順008:整備モードの解除】

- ①点検作業が完了しましたら右図の「HDM330メニュー」に戻るまで何回か EXIT キーを押してください。
- ②車両側をIG OFFしてください。
- ③再度イグニッション ON し、マルチインフォメーションディスプレイの“MAINTENANCE MODE”または“CERTIFICATION MODE”の表示が消灯していれば完了です。【完了】

